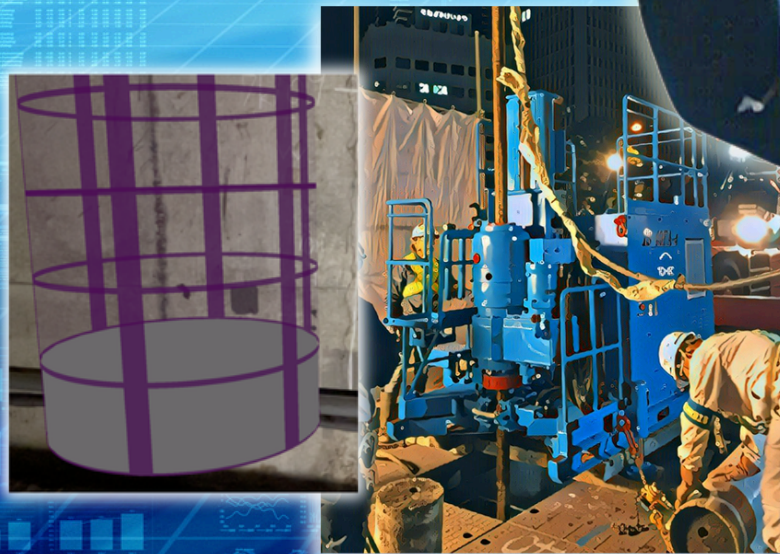


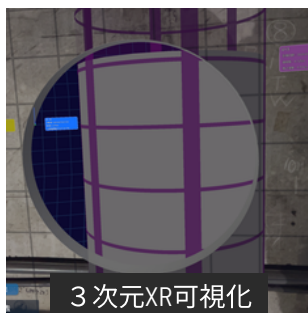
XRウォッチャー



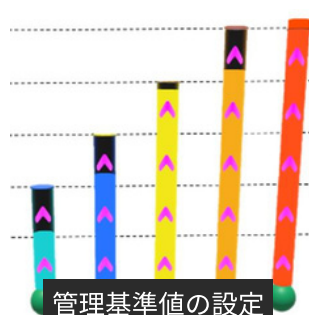
施工影響 XRウォッチャー



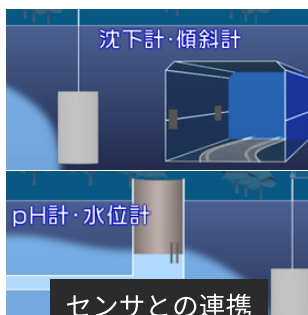
リアルタイム



3次元XR可視化



管理基準値の設定



センサとの連携

地盤改良の施工進捗と変位状況を見える化

機能1.

施工中のデータがクラウドを経由して瞬時に連携され、データにあわせて表示されている3次元モデルが変化していきます。
施工の位置や進捗、周囲の変位等をリアルタイムで把握することができます。

機能2.

iPadやホロレンズを使用し、現地に重ね合わせて情報が表示されます。
あるべき位置に3次元モデルが表示されるので、複雑な位置関係でも直感的に理解できます。

機能3.

各現場に合わせて簡単に管理基準値を設定することができます。
設定した管理基準値に基づいて、画面上では変位量が5色で段階表示されます。

機能4.

カスタマイズ性が高く、様々なIoTセンサと連携して多様なデータを可視化できます。

3次元可視化までのプロセス



1. センサ設置

現場にIoTセンサーを取り付けます



2. データを取得

取り付けたセンサからデータを取得します



3. クラウドに保存

取得されたデータがCSV形式でクラウドに保存されます



4. 3次元モデルで可視化

データがパラメータとなってセンサ情報を示す3次元モデルが生成され、ホロレンズやiPadの画面に表示されます



適用事例

・大阪駅前地下道東広場改築その他工事
(高圧噴射攪拌工法)

施工影響XRウォッチャーを使うと
施工管理がさらに高度化！



安全

品質

環境

●監視業務の高度化

- ・リアルタイムで現場状況を把握
- ・一目で施工位置と異常発生箇所がわかる
- ・正確な情報共有

●施工品質の向上

- ・経験が少ない人でも理解しやすい
- ・異常事態への迅速な対応

●周辺環境への配慮

- ・管理基準値による段階表示で異常の予兆を把握
- ・地盤改良による隣接物への影響を最小限に

【お問い合わせ先】



ict@okumuragumi.co.jp

株式会社奥村組 ICT統括センター イノベーション部 DX推進課



OKUMURA CORPORATION